

## 2024 年度「ひろしまコミュニティ基金」応募用紙\_様式 2

発達障害児と保護者、不登校の子ども保護者、大人の発達障害者への支援活動

特定非営利活動法人 らぼーる

1月1日から12月31日までの活動を事業別にまとめました。尚活動の様子や参加者の感想等はCANPAN ブログに掲載しております。

### 1) 発達障害児の保護者支援

#### ●DVD 学習会及び交流会 3回

発達障害の専門家の講演 DVD を視聴しながら、発達障害の特徴や子どもとの関わり方を学習し、その後に参加者同士が学んだことの振り返りや日頃の悩みを語り、先輩ママからの体験などを聞いて日頃の子育てのストレスを解消する目的として開催する。



#### ●講演会 2回

「発達障害（幼児期）の理解と支援」「子ども達を性的トラブルから守るために知っておきたいこと」専門家を招き開催

### 2) 発達障害の親子支援

#### ●夏休み親子活動 1回

ペットボトルをアップサイクルしてシャカシャカ袋を作ろう！

親子で参加していただき、日頃できない工作などを作成し楽しい時間を過ごすことを目的とする。保護者には子どもの成長をしっかり受け止められるように周りから声かけを行う。



出来上がった作品は夏休みの宿題として学校に提出されるとのこと。

また当日は、高校生ボランティアに参加していただき、子ども達と触れ合うことで発達障害への理解や子どもとの関わり方を知って頂くことができた。



### 3) 不登校の子どもを持つ保護者支援

#### ●らぼーるカフェ（茶話会） 8回

同じ立場の保護者が集まり、日頃の他所では語れない悩みを話す場として開催。

参加者からは、もやもやとした気持ちがスッキリできて、元気が出たと好評。

#### ●ペアレントトレーニング 4回

保護者自身が自分と向き合うためのワークショップ開催。

なりたい私を創るワークショップ、行動を起こすための方法、無意識と繋がる魂書などを行い、他の保護者さんとの関りの中で、自分に気づき新しい一歩を踏み出せるワークショップとして開催した。

## 2024 年度「ひろしまコミュニティ基金」応募用紙\_様式 2

### 4) 大人の発達障害 支援

#### ●茶話会 (ピアサポート) 12回

対面とオンライン (zoom) で、発達障害当事者が日頃の悩みや気になっていること、情報交換を行い。安心と癒しの場を提供した。

### 5) その他事業 赤い羽根中央共同募金会 助成金事業

#### ●地域での孤立に気づき、つながり見守る人材、つながりワーカー養成講座 3回

中央共同募金会から提供された動画を見ながら、個人で考えグループ内で話し合いを行い、3つの事例 (孤立した子育て、引きこもりの若者、高齢者) を用い、当事者に声掛けの仕方や関り方また支援先などの情報や知識を学ぶ。参加者から「学んだ内容は特別なものではなく、日頃すぐに活かせる」等の感想を頂いた。広報は中国新聞社紙面や WAM ネット (独立行政法人福祉医療機構) に掲載された。



### 6) パARENTメンターの活動

●広島県の発達障害事業である「パARENTメンター」として、当法人より3名が江田島市の発達に気になる子どもを対象とした運動教室において、保護者の気になることや心配なことをお話していただき、先輩としての交流を行った。(ボランティア活動・江田島市から交通費支給有)

### 7) 啓発活動及相談活動

- メールや電話での相談対応を当事者ならではの視点を持った支援を行うことができた。
- 活動の様子を SNS で報告
- 法人誌・らぼーる通信を広島県や関係機関に配布、くれ・ひろ協働センターにて配布し啓発を行う。

【最後に】 以前は情報が少なく、市内・県内そして県外からも毎月法人の活動に参加されていた保護者さんもいらっしゃいました。しかしコロナ禍後は、発達障害や不登校がビジネス化され、さらに情報がネット上にあふれるようになってきました。しかし、これほど情報があっても障害児者や不登校の子どもたちは本当に幸せになっているのでしょうか？ あふれすぎている情報の中から何を選んだらよいのか迷っている保護者さんも増えています。 私たち「らぼーる」では、行政が手の届かない細かい支援、特に母親や不登校の子どもたちを支える支援を続けていきたいと思っております。今よりもっと多くの方に法人の活動を知っていただくため、HP 修正代金に使いたいと思っておりますので、どうぞご支援よろしくお願い致します。